

平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月10日

上場会社名 株式会社アルファクス・フード・システム 上場取引所 大
 コード番号 3814 URL http://www.afs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 河原 克樹 (TEL) 0836 (32) 5161
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	1,165	△18.5	21	△58.0	15	△65.0	3	△82.0
21年9月期第3四半期	1,429	4.3	50	309.2	44	654.1	21	181.5

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	169	38	168	38
21年9月期第3四半期	877	56	871	78

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
22年9月期第3四半期	1,730		881		50.9		38,035	38
21年9月期	1,754		900		51.3		38,871	73

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 881百万円 21年9月期 900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
21年9月期	—		250	00	—		750	00	1,000	00
22年9月期	—		250	00	—					
22年9月期(予想)							750	00	1,000	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年9月期の業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,810	△1.5	65	108.7	53	119.8	26	370.7	1,122	67

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	24,991株	21年9月期	24,985株
22年9月期3Q	1,826株	21年9月期	1,826株
22年9月期3Q	23,160株	21年9月期3Q	24,866株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした輸出が増加し企業の生産活動も一部改善は見られるものの、所得環境は依然厳しく、本格的な回復には至らず厳しい環境で推移いたしました。

当社の主要販売先である外食産業におきましても、所得水準や雇用環境の改善傾向がみられず、引き続き節約志向や低価格商品への需要が高く、各社の低価格競争はさらに激しさを増し、店舗計画の見直しや新規設備投資の抑制など厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、ASPサービス事業におきましては、店舗計画の見直しによる月額サービス料の収入減少に目処が立ったこと及びシステム機器事業におきましては、期ズレしていた受注の一部設置等があったものの、当第3四半期累計期間の売上高は1,165,495千円（前年同期比18.5%減）となりました。利益面に関しては、ASPサービス事業の月額サービス料が店舗計画の見直しにより714,123千円（前年同期比5.7%減）と減少したこと及び新型POSシステムの金型償却等の発生により、営業利益21,021千円（前年同期比58.0%減）、経常利益15,705千円（前年同期比65.0%減）、四半期純利益3,922千円（前年同期比82.0%減）となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、店舗計画の見直しによる月額サービス料の収入減少に目処が立ちましたが、新規大型受注の減少により、売上高は839,370千円（前年同期比10.3%減）となりました。月額サービス料につきましては、9ヶ月累計で714,123千円（前年同期比5.7%減）となりました。

② システム機器事業

当事業におきましては、前期より期ズレしていた受注の獲得と設置等があり計画通りに推移しましたが、売上高は192,239千円（前年同期比22.1%減）となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売等を行った結果、売上高は133,884千円（前年同期比45.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、1,730,524千円となり、前事業年度末に比べ23,642千円減少いたしました。主な増減は、流動資産では現金及び預金178,698千円の減少がありました。固定資産においては、建設仮勘定48,000千円の増加、ソフトウェア37,973千円の増加がありました。純資産につきましては、881,089千円となり、19,140千円減少いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローによって使用した資金により前事業年度末に比べ204,998千円減少し、当第3四半期累計期間末には382,331千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は10,027千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益14,658千円の計上、減価償却費51,072千円の計上及び売上債権59,358千円の減少、たな卸資産93,096千円の増加、貸倒引当金26,574千円の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は164,302千円となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得により使用したことによる資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は30,667千円となりました。これは主に、配当金による支出が22,974千円あったことによる資金の減少によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社主要顧客である外食産業を取り巻く環境は、消費者の生活防衛姿勢の強まり等、厳しい環境が続くものと予想されます。このような状況を踏まえ、平成22年4月30日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

当第3四半期会計期間末におけるたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期会計期間末にかかる実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切下げにあたっては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	412,131	590,829
受取手形及び売掛金	152,025	234,529
商品	607,223	523,862
その他	50,449	38,130
貸倒引当金	△3,329	△5,136
流動資産合計	1,218,500	1,382,216
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,740	12,022
車両運搬具（純額）	1,914	—
工具、器具及び備品（純額）	87,627	59,782
土地	20,429	20,429
建設仮勘定	112,000	64,000
有形固定資産合計	232,710	156,234
無形固定資産		
ソフトウェア	38,372	398
ソフトウェア仮勘定	35,000	51,166
その他	2,445	2,445
無形固定資産合計	75,817	54,009
投資その他の資産		
出資金	128	112
長期前払費用	3,174	905
繰延税金資産	23,484	36,580
長期未収入金	189,935	—
その他	14,439	183,961
貸倒引当金	△35,085	△59,853
投資その他の資産合計	196,077	161,706
固定資産合計	504,605	371,950
繰延資産		
社債発行費	7,418	—
繰延資産合計	7,418	—
資産合計	1,730,524	1,754,167

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	101,219	98,322
短期借入金	329,000	629,000
1年内償還予定の社債	40,000	—
未払法人税等	—	6,350
引当金	3,459	13,921
その他	106,878	98,780
流動負債合計	580,558	846,374
固定負債		
社債	160,000	—
長期借入金	100,000	—
引当金	8,876	7,562
固定負債合計	268,876	7,562
負債合計	849,434	853,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	535,020	534,904
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	334,606	353,842
自己株式	△132,115	△132,115
株主資本合計	881,110	900,230
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△20	—
評価・換算差額等合計	△20	—
純資産合計	881,089	900,230
負債純資産合計	1,730,524	1,754,167

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,429,623	1,165,495
売上原価	851,126	706,048
売上総利益	578,497	459,447
販売費及び一般管理費	528,390	438,425
営業利益	50,106	21,021
営業外収益		
受取利息	180	74
受取配当金	—	2
雑収入	695	2,495
営業外収益合計	876	2,572
営業外費用		
支払利息	6,145	5,704
社債利息	—	498
その他	1	1,686
営業外費用合計	6,146	7,889
経常利益	44,836	15,705
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,325	1,166
特別利益合計	1,325	1,166
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	2,212
たな卸資産評価損	2,123	—
特別損失合計	2,123	2,212
税引前四半期純利益	44,038	14,658
法人税、住民税及び事業税	6,710	1,223
法人税等調整額	15,506	9,512
法人税等合計	22,216	10,735
四半期純利益	21,821	3,922

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	44,038	14,658
減価償却費	37,632	51,072
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,325	△26,574
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,221	△10,462
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,614	1,314
受取利息及び受取配当金	△180	△76
支払利息	6,145	6,357
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,686	59,358
たな卸資産の増減額 (△は増加)	33,396	△93,096
仕入債務の増減額 (△は減少)	△70,537	2,897
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	27,758	△9,009
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	42,429	5,331
その他	△3,709	795
小計	103,352	2,567
利息及び配当金の受取額	180	76
利息の支払額	△6,483	△7,737
法人税等の支払額	△1,629	△4,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,419	△10,027
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△52,628	△104,813
無形固定資産の取得による支出	—	△35,000
定期預金の預入による支出	△1,400	△26,300
その他	7	1,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,021	△164,302
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,345,000	1,372,000
短期借入金の返済による支出	△1,345,000	△1,672,000
長期借入れによる収入	—	100,000
社債の発行による収入	—	192,191
株式の発行による収入	174	116
自己株式の取得による支出	△11,358	—
配当金の支払額	△24,280	△22,974
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,464	△30,667
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,933	△204,998
現金及び現金同等物の期首残高	570,654	587,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	576,588	382,331

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。